

# 令和5年度 2月補正予算の概要

## （ 一般会計 ）

### 1 補正予算（第7号）の規模

1, 213, 346千円を増額 補正後の額20, 792, 924千円

### 2 概要

令和6年度当初予算との連動・連携を意識した2月補正予算は、事業執行に伴う不用額を最大限に活用し、新年度に予定していた町内会館や保育所、小中学校をはじめとする各公共施設の維持補修費等の一部を前倒し計上することにより、公共工事発注の平準化と事業効果の早期発現を図るもの。

また、国の予備費により増額された地方創生臨時交付金の交付限度額内示を受け、低所得者世帯に対して追加支援策を講じるとともに、国の補正予算で措置された交付金を活用し、成田二期北工業用地へのアクセス道路となる七北田西成田線の整備に加え、石積線や明石石積線の舗装修繕に係る所要額を計上するもの。

### 3 歳入歳出（款別）内訳について

（単位：千円）

歳入（款）	補正額	歳出（款）	補正額
01 市税	208,200	1 議会費	35
11 地方交付税	115,355	2 総務費	165,727
13 分担金及び負担金	△9,175	3 民生費	431,544
14 使用料及び手数料	△934	4 衛生費	△15,893
15 国庫支出金	583,132	6 農林水産業費	1,502
16 県支出金	35,937	7 商工費	1,493
17 財産収入	1	8 土木費	645,435
18 寄附金	14,212	9 消防費	△498
19 繰入金	△41,851	10 教育費	△29,799
21 諸収入	14,169	12 公債費	13,800
22 市債	294,300		
計	1,213,346	計	1,213,346

## 4 主な事業について

(1) 七北田西成田線整備工事負担金 342,350千円

富谷市成田二期北土地区画整理事業を推進するにあたり、工業用地整備に必要な不可欠な道路整備(L=243m)を実施するもの。なお、整備については、宮城県への委託工事とし、県への負担金として工事費及び事務費相当額を計上するもの。事業期間は、令和6年から令和8年までの3年で計画。

【活用財源 国費：社会資本整備総合交付金】

(2) 標準化システム移行業務 180,000千円

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、令和7年度末までに国が定める標準仕様に適合した情報システム(住基・税務システム等20業務)への移行を行うにあたり、各種既存システムのデータ移行に係る所要額を計上するもの。

(3) 富谷中学校西成田教室整備事業 8,562千円

富谷中学校西成田教室の教育環境の改善を図るため、西成田コミュニティセンターの増築(9.65㎡)に係る所要額を計上するもの。

(4) 带状疱疹予防接種助成事業 308千円

带状疱疹の発症を予防することで、市民の健康を保持・増進し、また、経済的な負担軽減を図ることを目的に、50才以上の方に対して令和6年3月より、予防接種費用の一部を助成するため、所要額を計上するもの。

(助成金額 生ワクチン：4千円 不活化ワクチン：1万円(2回まで))

(5) 住民税非課税世帯等物価高騰対策支援事業 1,138千円

低所得者支援として、令和5年度における個人住民税非課税世帯において扶養されている18歳以下の児童1人あたり5万円(以下「こども加算」という。)を支給するため、所要額を計上するもの。

【活用財源 国費：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】

(6) 住民税均等割のみ課税世帯物価高騰対策支援事業 113,274千円

低所得者支援として、令和5年度における個人住民税均等割のみの課税がなされる世帯に対し、1世帯あたり10万円及びこども加算を支給するため、所要額を計上するもの。

【活用財源 国費：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】

(7) 令和6年度住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業 79,596千円

低所得者支援として、新たに住民税非課税となる世帯(令和5年度に上記給付対象となった世帯を除く。)に対し、1世帯あたり10万円及びこども加算を支給するため、所要額を計上するもの。

【活用財源 国費：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】

(8) 令和6年度住民税均等割のみ課税世帯物価高騰対策支援事業

45,997千円

低所得者支援として、新たに住民税均等割のみ課税世帯（令和5年度に上記給付対象となった世帯を除く。）に対し、1世帯あたり10万円及びこども加算を支給するため、所要額を計上するもの。

【活用財源 国費：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】

(9) 市道幹線道路舗装修繕事業 220,000千円

幹線道路である市道石積線（L=470m）及び市道明石石積線（L=400m）の舗装の老朽化に伴い、路面に亀裂や轍が多数発生し、車両の通行に支障が生じていることから、安全な通行を確保するため、舗装修繕に必要な費用を計上するもの。

【活用財源 国費：防災・安全社会資本整備総合交付金】

【各施設維持補修等事業一覧】

- ①町内会館整備事業（工事請負費） 19,860千円
- ②放課後児童クラブ運営事業（修繕料） 716千円
- ③保育所運営・維持管理事業（修繕料、工事請負費） 6,006千円
- ④農業用施設維持管理事業（修繕料） 1,496千円
- ⑤市立小学校維持管理事業（修繕料、工事請負費） 3,951千円
- ⑥市立中学校維持管理事業（修繕料、工事請負費） 2,717千円
- ⑦西成田コミュニティーセンター運営・維持管理事業（修繕料） 1,210千円
- ⑧一般公園維持管理事業（修繕料） 34,361千円

## ( 市営墓地特別会計 )

### 1 補正予算(第3号)の規模

50,000千円(債務負担行為の設定)

### 2 概要

市営墓地「やすらぎパークとみや」の第2期整備工事を実施するため、債務負担行為を設定するもの。

### 4 主な事業について

#### (1) やすらぎパークとみや市営墓地第2期整備工事 50,000千円

令和5年12月に利用を開始した市営墓地「やすらぎパークとみや」について、一部募集数に対して使用希望者が上回った墓地があったことから、第2期整備工事を実施するもの。

なお、早期に契約を締結するため、本年度中に債務負担行為を設定するもの。

## ( 国民健康保険特別会計 )

### 1 補正予算（第5号）の規模

2,791千円を増額 補正後の額 4,382,576千円

### 2 概要

歳入、歳出各項目について、今年度の実績見込みに基づき予算措置を講ずるもの。

### 3 歳入歳出（款別）内訳について

（単位：千円）

歳入（款）	補正額	歳出（款）	補正額
1 国民健康保険税	35,900	1 総務費	△1,139
4 県支出金	4,511	2 保険給付費	4,570
6 繰入金	△41,990	7 諸支出金	△640
8 諸収入	4,370		
計	2,791	計	2,791

### 4 主な事業について

#### (1) 歳入

①国民健康保険税	35,900千円
②保険給付費等交付金（県支出金）	4,511千円
③一般会計繰入金（繰入金）	2,374千円
④財政調整基金繰入金（繰入金）	△44,364千円
⑤国保税延滞金（諸収入）	4,370千円

#### (2) 歳出

①一般管理費（総務費）	△342千円
②賦課徴収費（総務費）	△530千円
③趣旨普及費（総務費）	△267千円
④療養費・高額療養費（保険給付費）	4,570千円
⑤国保税還付金（諸支出金）	△640千円

## （ 介護保険特別会計 ）

### 1 補正予算（第4号）の規模

113,019千円を減額 補正後の額 3,240,031千円

### 2 概要

歳入、歳出各項目について、今年度の実績見込みに基づき予算措置を講ずるもの。

### 3 歳入歳出（款別）内訳について

（単位：千円）

歳入（款）	補正額	歳出（款）	補正額
1 保険料	△10,500	1 総務費	△1,062
3 国庫支出金	△23,573	2 保険給付費	△124,000
4 支払基金交付金	△34,371	3 地域支援事業費	△3,300
5 県支出金	△18,362	4 基金積立金	15,343
7 繰入金	△26,313		
9 諸収入	100		
計	△113,019	計	△113,019

### 4 主な事業について

#### （1）歳入

①第1号被保険者保険料	△10,500千円
②介護給付費負担金（国庫支出金）	△22,350千円
③介護給付費交付金（支払基金交付金）	△33,480千円
④介護給付費負担金（県支出金）	△17,950千円
⑤一般会計繰入金	△15,287千円

#### （2）歳出

①居宅介護サービス給付費	△40,000千円
②地域密着型介護サービス給付費	△30,000千円
③施設介護サービス給付費	△40,000千円
④特定入所者介護サービス費	△9,000千円
⑤介護給付費準備基金積立金	15,343千円

## ( 後期高齢者医療特別会計 )

### 1 補正予算（第1号）の規模

12,351千円を増額 補正後の額 483,585千円

### 2 概要

歳入、歳出各項目について、今年度の実績見込みに基づき予算措置を講ずるもの。

### 3 歳入歳出（款別）内訳について

(単位：千円)

歳入（款）	補正額	歳出（款）	補正額
1 後期高齢者医療保険料	3,000	1 総務費	△1,030
3 繰入金	△1,520	2 後期高齢者医療 広域連合納付金	12,924
4 繰越金	10,871	4 諸支出金	457
計	12,351	計	12,351

### 4 主な事業について

#### (1) 歳入

①後期高齢者医療保険料	3,000千円
②一般会計繰入金（繰入金）	△1,520千円
③繰越金	10,871千円

#### (2) 歳出

①一般管理費（総務費）	△730千円
②徴収費（総務費）	△300千円
③後期高齢者医療広域連合納付金	12,924千円
④一般会計繰出金（諸支出金）	457千円

## ( 下水道事業会計 )

### 1 補正予算（第3号）の規模

収益的収入	71,762千円を増額	補正後の額	1,202,465千円
収益的支出	40,847千円を減額	補正後の額	1,091,516千円
資本的収入	55,360千円を増額	補正後の額	112,105千円
資本的支出	21,226千円を減額	補正後の額	196,453千円

### 2 概要

- ・長期前受金の算定方法を見直したことによる予算額の調整を行うもの。
- ・その他実績見込みによる予算額の調整を行うもの。

### 3 収入支出（款別）内訳について

（単位：千円）

収益的収入（款項）	補正予定額	収益的支出（款項）	補正予定額
1 下水道事業収益	71,762	1 下水道事業費用	△40,847
2 営業外収益	2,734	1 営業費用	△43,612
3 特別利益	69,028	2 営業外費用	2,765

資本的収入（款項）	補正予定額	資本的支出（款項）	補正予定額
1 資本的収入	△55,360	1 資本的支出	△21,226
1 企業債	△70,000	1 建設改良費	△15,464
2 寄附金	6,799	2 企業債償還金	△5,762
3 他会計負担金	△62		
4 国庫補助金	350		
5 負担金	7,553		

### 4 主な事業について

#### (1) 収益的収入 下水道事業収益

- ①営業外収益の実績見込みによる国庫補助金の調整      △18,500千円
- ②営業外収益の長期前受金算定方法の見直しによる増額      21,247千円
- ③特別利益の長期前受金算定方法の見直しによる増額      69,028千円

#### (2) 収益的支出 下水道事業費用

- ①営業費用の実績見込みによる予算の調整      △43,612千円

#### (3) 資本的収入

- ①企業債の流域下水道事業に係る企業債収入の減額      △70,000千円

#### (4) 資本的支出

- ①建設改良費の建設負担金の確定に伴う減額      △15,464千円

## ( 水道事業会計 )

### 1 補正予算 (第4号) の規模

収益的収入	4, 674千円を増額	補正後の額	1, 138, 906千円
収益的支出	347千円を増額	補正後の額	1, 028, 729千円
資本的収入	23, 517千円を増額	補正後の額	191, 783千円

### 2 概要

- ・ 開発負担金の資本的収入を増額するもの。
- ・ その他実績見込みによる予算額の調整を行うもの。

### 3 収入支出 (款別) 内訳について

(単位：千円)

収益的収入 (款項)	補正予定額	収益的支出 (款項)	補正予定額
1 水道事業収益	4, 674	1 水道事業費用	347
2 営業外収益	4, 674	1 営業費用	197
		2 営業外費用	150

(単位：千円)

資本的収入 (款項)	補正予定額	資本的支出 (款項)	補正予定額
1 資本的収入	23, 517		
2 開発負担金	23, 517		

### 4 主な事業について

#### (1) 収益的収入 水道事業収益

① 営業外収益の実績見込みによる長期前受金戻入の調整 4, 674千円

#### (2) 収益的支出 水道事業費用

① 営業費用の実績見込みによる有形固定資産 減価償却費の調整  $\Delta$  5, 164千円

② 営業費用の実績見込みによる固定資産除却費の調整 5, 040千円

#### (3) 資本的収入 資本的収入

① 開発負担金の実績見込みによる計上 23, 517千円